これよりトレーニングをはじめる！
全員指示を待つように！

ではまずは敬礼！
ハイッ！
お前たちは
クライアントの
性処理のために
存在する！
ハイッ
そのとおりです！

よし
そのまま
姿勢維持！
射精コントロールの
訓練をはじめる！
ハイッ！
こちらの指示と同時に
射精するように！
遅すぎても
早すぎても
認めないぞ！

まだだ！
まだイくなよ！
あと二十分は我慢しろ！
ハ…ハイッ！

時間だ！
イってよし！
イ、
イきます！
みじめに
精子をぶちまけろ！
ハイッ！
みじめに射精させて
いただきます！

うむ
まぁ射精量は
もう少し欲しい
ところだが
及第点といった
ところだな
も、申し訳あり
ません
次はもっと精進
します
それでは
次のトレーニング
にうつるぞ！

では
次の訓練にうつる――
ビクッ!!
ビクン!
お前たちは
クライアントの
どんな性器も
受け入れなければ
ならない!
よって
アナル強化訓練だ!

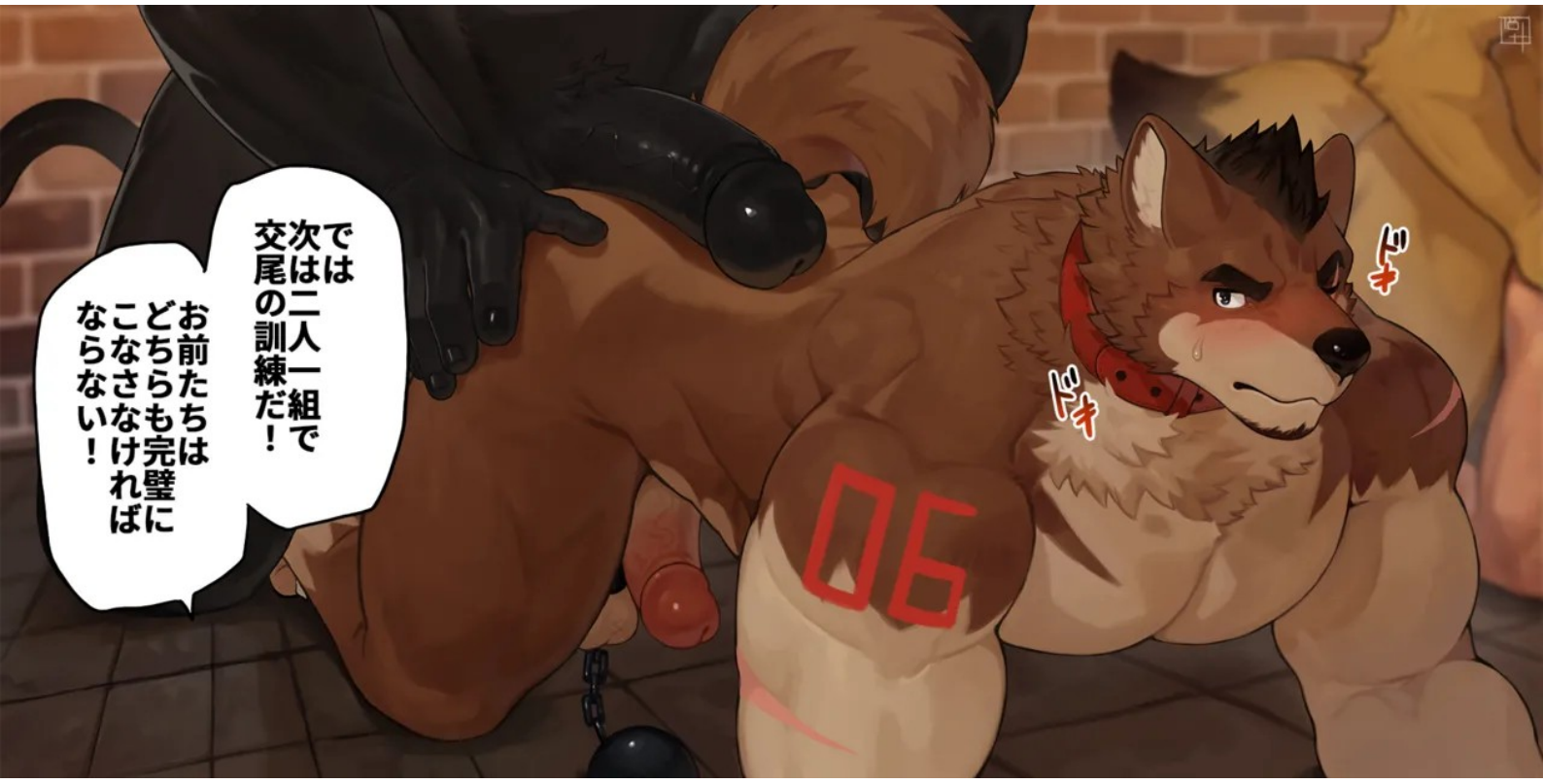
では
挿入しろ！
ハイッ！
06
ズポッ
ズポッ
ズポッ

もっとだ！
もっと奥まで
挿入しろ！
お前の胃袋まで
全部がクライアントの
性処理のためにあるのだからな！
ハイ!!
グチュッ
グチュッ
グチュッ

クライアントのチンポだと思って貴様らのアナルで必死に愛撫しろ！
まだイくなよ！
許可なく射精することは許されないぞ！
ハァ
ハァ
06
メポ
メポッ
メポ

よしいやしく精子をぶちまけろッ！
クライアントを楽しませるように派手に射精しろ！
ハ、ハイ！
ビュルッ
ビュルルルルッ
ビュル

よし
今回の訓練も
合格ということ
してやろう
ハァ
ハァ
ありがとう
ございます…
それでは
次の訓練に
うつるぞ
ビクッ
ビクッ


では
次は二人一組で
交尾の訓練だ！
お前たちは
どちらも完璧に
こなさなければ
ならない！
ドキ
ドキ
06

ハイッ！
それでは
タチ側は挿入しろ！
ウケ側は
四つん這いに
なるだけではなく
アナルをしっかりと
締めろ！
ズプッ
ビクン
06

もっと
奥まで挿入しろ！
ズププ……
ハ、ハイッ！
お前らの
チンポもアナルも
クライアントのために
あるってことを
肝に銘じておけ！
ビクッ!!
06

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ハァ
ハァ
ハァ
06
ビィッ
もっとだ！
もっと激しく
ピストンしろ！
そんなものでは
クライアントは
満足して
くださらないぞ！

ハイッ！
よし
射精しろ！
お前らの
快楽のための
クライアントのための
精子だ！
忘れるな！
ビュルルッ
ビュルッ
ビュルッ
06
ハァ
ハァ

ハ…ハイッ！
交代してもう一度だ！
クズクズするなッ!!
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
06

位置につけッ！
タチとウケを
入れ替えて
トレーニングを
はじめるぞ！
ビクン
ビクンッ

ハイッ！
ズボッ
挿入しろ！

なんだその情けないピストンは！
グポッ
グポッ
グッ
それでもオスか！もっと激しくしろ！
ハッハイ！

ハイッ！
パンッ
グポッ
グポッ
グポッ
パンッ
パンッ
もっとだッ！

よしっ！
射精しろ！
ビュルル
ビュルルルル
しょぼい射精など
するんじゃないぞ！
ハ…ハイッ！

よし――
いいだろう
ビクン
ビュルル
ビク
ビクン
それでは今日の
トレーニングは
これにて終了する！
だが六番！
貴様はこれから
特別に
個別トレーニングを
つけてやる！
ついてこい！
ハ、ハイ！
ありがとうございます！

よし、これから特別トレーニングをはじめるぞ
そこの机に乗れ、6番
ハイッ！
ドキ
ドキ
ビクン
ビクン
ビクン

今回は俺が直々にトレーニングにつきあってやるぞ
嬉しいだろう？
ドキ
ドキ
ドキ
ハイッ！
俺の淫乱なケツを好きにつかってください！
ビクン
ビクン

その素直さ、いいぞ
日頃のトレーニングの
賜物だな
よし、それでは
挿入れてやるぞ！
ビクンッ♥
ズポッ!!
ンッ！
ありがとう
ございます！

ケツの方も
ほどよい締まりだ
やはりお前は
一番優秀な
肉便器だな！
ンンッ！
ありがとう
ございます！
アッ！
もっと淫らな
肉便器になりたいですッ！
グポッ
グポッ
グポッ
グポッ

イくぞッ！
お前もイけ！
ハイッ！
イかせていただきます！
アアアッ！
ビュルルル!!
ビュルッ!
ビュル!

ふぅ
なかなか良かったぞ
お前ももう
立派な肉便器になった
明日からクライアントを
あてがってやろう
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ありがとう
ございます
光栄です！
肉便器として
奉仕させて
いただきますッ！